	十次と「十次に」以口回フ		4 平成 2	2/ 年 0 月	25 🗖	
評価対象事業	評価者	学科	努課担当課長	小日山 明		
教育-22 教職員運営事業	■ 自治事務	主管課	学務課			
教育-22 教職貝連呂事未	□ 法定受託事務	S <mark>関連課</mark>				
総合計画上の	施策の方金	安全・安心で	で開かれた学校づくり)		
1 事業の目的 2 平成26年度に実施した事業の概要						
対象 県費負担教職員	·教職 [の適正な人事	 配置を行った。			

教職員の健康管理を行い、学校教育の質の向上を図るため。

教職員の心身の健康増進を図り、豊かで質の高い教育を実現す 果

- ・学校管理職としての資質の向上を図るための研修を行った。
- ・一日健康診断を行い、教職員の健康増進に努めた。 ・福利厚生活動を実施し、教職員の元気回復に努めた。

3 事業費等基礎データ

1	データ区分	27年度当初予算	データ区分	26年度決算		備考
データの	人口	177,243人	人口	177,464人	/	•各年3月31日
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯		(住民基本台帳)
	事業の対象者数	662人	事業の対象者数	656人		
	当初予算(千円)	11,047	決算値(千円)	10,050	/	
運	国県支出金		国県支出金			
運営資源	地方債		地方債		/	
具 酒	その他		その他			
状	一般財源	11,047	一般財源	10,050		
況	人員配置数	2.0	人員配置数	2.0	/	
	人 件 費(千円)	15,390	人 件 費(千円)	14,967		
基業運営	総事業費(千円)	26,437	総事業費(千円)	25,017		
	市民1人当りの 経費(円)	149	市民1人当りの 経費(円)	141		
	対象者1人当り の経費(円)	39,935	対象者1人当り の経費(円)	38,136		

4	評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

	6年度事業実施 たっての課題	教職員の年齢構成(経験	教職員の年齢構成(経験年数)の偏りによって、学校運営の中核となるべき中堅職員が不足している。							
	決のために行っ は26年度の取組	他市町との交流人事に。	より年齢構成の	□ 解決 □ m m m m m m m m m m m m m m m m m m						
	未解決の課題 新たな課題 教職員の年齢構成(経験年数)の偏りの解消及び事故・不祥事の根絶を目指して取り組む。									
効 率 1	事業費に削減	余地はないか		2. ない						
X) T I		業との統合はできないか		3. 統合できない						
	事業の実施に	対する市民ニーズはある	るか	3. 変わらずにある						
妥当作	生事業の廃止・体	k止による市民生活への景	/響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある						
	今後も市が実施すべき事業か			5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある						
有効性	事業の成果は	は得られているか		3. 十分な成果が出ている						
17 XJ I	事業の上位施	策に向けた貢献度は大	きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している						
公平巾	性 受益者負担は	公正・公平か	△.負担未導入	△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである						
協(動 古足笙レ切働!	して事業を展開しているか	^ 均働土宝協	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない						
ו מלו	判 川 以守 に 励 制 に	ノ(争果を展開しているか	△. 肠惻木夫肔	協働実施済の場合のパートナー						
	□ a:事業内	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	見 □ 拡大	96						
事業内容の方	<mark>引</mark> ■ b:事業内	7容は現状通りとする	<mark>種直</mark> 類し □ 縮小							
向性		休止又は廃止する	<mark>の</mark> □ その	o他 <mark>の</mark>						
	□ d:他事業	さんだい、本事業は廃止	:する =	事業へ統合						
予算規	□ A:予算規	見模を拡大する	事業内容•予	本事業は、学校運営を円滑に進めるとともに教職員の健康の増進を図るために不						
模の方	7 ■ B:予算規	見模は現状維持とする	算規模の方向	可欠であり、事業内容は現状維持であるが、教職員数や学校の状況により拡大とな						
向性	□ C:予算規	見模を縮小する	性設定の理由	声 る。						
<i>6</i> /λ=π				或人事交流を積極的に図る。また、総括教諭や管理職への若手人材登用を推進す						
総評	平 るなど長期的な視点で教職員の人事配置を進める。 口滑な学校運営に重要な影響を及ぼす教職員の健康管理や安全衛生について充実を図る。									

〇 他市比較	፟፟ӯ・ベンチマーク(県内外自	治体や民間	団体との比較	(値)				
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
心中天順									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
他中天棋									
比較事項	·								
団体名	鎌倉市								
//b									
他市実績・									
当該事業実施	ーーーー 地に伴う								
他市比較に持えた。									
	教職員の健康診断	行受診率				単位		票の一	備考
	と設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	向 H31	
		目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
持増進のためり	教職員の健康の保 に重要であるた	実績値	100.0%						
め。		達成率	100.0%						
指標の内容				•	•	単		票の	備考
 当該指標を	と設定した理由	年次	H26	H27	H28	位 H29	H30	向 H31	
		目標値							
		実績値							
		達成率							
指標の内容						単位		票の	備考
 当該指標を	と設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
		目標値							
		実績値							
		達成率							
指標の内容						単位		票の	備考
 当該指標を	と設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
		目標値							
		実績値							
		達成率							
指標の内容						単位		票の	備考
 当該指標を	と設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
		目標値							
		実績値							
		達成率							
当該事業実施 指標の推移に 考え方	ニ関する 健康診断	がは教職員	の健康管理上	重要であるため	り、引き続き全教	対職員が受診で	きるようにする。		
● 車業に即	日する特記事項								

□ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業

□ 第3期基本計画前期実施計画重点事業